

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2019年本屋大賞

本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト

10

2017年12月〜2018年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ(文藝春秋)

2位

『ひと』

小野寺史宜(祥伝社)

3位

『ベルリンは晴れているか』

深緑野分(筑摩書房)

4位

『熱帯』

森見登美彦(文藝春秋)

5位

『ある男』

平野啓一郎(文藝春秋)

6位

『さざなみのよる』

木皿泉(河出書房新社)

7位

『愛なき世界』

三浦しをん(中央公論新社)

8位

『ひとつつむぎの手』

知念実希人(新潮社)

9位

『火のないところに煙は』

芦沢央(新潮社)

10位

『フリーガはユーガ』

伊坂幸太郎(実業之日本社)

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。

Supported by

NOLTY®
ノルティ

PAGEM
ペイジェム